

神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・V

山田 和彦・工藤 孝浩

Kazuhiko Yamada & Takahiro Kudo : Landing Fishes on Misaki
Fisheries Market, from Sagami Bay, V

はじめに

相模湾の魚類相を明らかにするために、1984年から、三崎魚市場での調査を継続的に行っている。前報までに414種を報告したが(山田・工藤、1993)、その後新たに20種が追加されたので報告する。

調査方法

調査は、三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち、相模湾で採集されたものだけを記録した。調査期間は、1992年12月から1995年9月までの間で、一ヵ月に1~4回の調査を行った。資料は、標本が採集できたものは、横須賀市自然博物館魚類資料(YCM-P)として登録し、入手不可能なものは、写真に収め記録した。魚種名、分類及び全般的な分布記録などは中坊編(1993)に従った。

調査結果

現在、著者らは、横須賀市自然博物館において、これまでに採集された標本の整理と登録を進めている。その中の、今まで未登録であったもののうち、種が判明したものが8種あり、上記の調査期間中新たに記録されたものは、12種であった。

1993年は、相模湾に黒潮が流入し、イタチザメの他、暖流系の魚が出現した(竹内氏私信)。1994年は、夏に猛暑を記録し、海表面の水温は上昇したが、黒潮による魚の運搬は少なかった。8月中旬に東京湾奥部でもアミモンガラやイスズミが見られた。しかし、その後は黒潮がほぼ直線型に流れ、例年比べても暖流系魚類の出現が少なかった。

1995年も引き続き黒潮は、直線型を示し、相模湾に向かう流れの分岐は、はっきりせず、沿岸水温も7月下旬までは、例年を下回った。そのため、本年記録された魚類は、温帯性魚類が多い。

近年房総半島南部の定置網による漁獲魚種の解析(宮他、1994 a、b)をみると、黒潮の影響が強いことがわかる。房総半島よりやや内湾的な三浦半島では、黒潮の蛇行がない限り直接暖流が流入することはなく、通常出現する暖流系魚類は、房総半島に比べ少ないと思われる。相模湾の魚類相を知るためには、このような隣接する黒潮流域の魚類相を調べる必要があるが、まとまった調査は少ない。

以下に本目録に追加される各魚種の採集年月日、採集場所及び採集方法、全長、登録番号、分布記録等を述べる。

415. イタチザメ *Galeocerdo cuvier*

1993年10月20日、茅ヶ崎定置網、TL:約4m、♀

本種は、体表の特徴的な模様で、他のメジロザメ科魚類と区別される。世界の温・熱帯海域に広く分布し、日本付近では伊豆諸島以南に分布する。相模湾初記録であり、西部太平洋における北限である。

416. ツマリカスベ *Raja schmidti*

1992年1月14日、城ヶ島刺網、TL:240mm、YCM-P35151

本種は、三浦半島周辺のガンギエイ科魚類のうち、最も普通に見られ、刺網や定置網等にほぼ周年入網する。

417. コモンカスベ *Raja kenoei*

1995年5月29日、茅ヶ崎定置網、TL:340mm、YCM-P35252

本種は、最近まで分類が混乱していたため、普通種と思われるが記録は少ない。また成長に伴う棘や、個体による体色の変異が著しい(Ishihara,1987)。体盤下面の感覚管の分布により本種と同定した。

418. ハモ *Muraenesox cinereus*
 1995年5月29日、茅ヶ崎定置網、TL:590mm、
 YCM-P35253
 南日本に分布し、相模湾では西湘(林・西山、1980)佐島(林・伊藤、1974)から記録がある。三崎市場では今まで入荷しなかったが、昨年、本年は茅ヶ崎の定置網で多数漁獲されている。
419. ニギス *Glossanodon semifasciatus*
 1995年7月26日、三戸定置網、TL:85mm、
 YCM-P35240
 本種は、相模湾以南に分布する。昼夜の鉛直移動をし夜間定置網に入るものと思われる。
420. トビウオ *Cypselurus agoo agoo*
 1995年8月6日、三戸定置網、TL:294mm、
 YCM-P35257
 本種は、千葉県以南、台湾北部まで分布し、相模湾では、西湘(林・西山、1980)、佐島(林・伊藤、1974)、三浦半島南西部(工藤・岡部、1991)から記録がある。トビウオ類は外見上類似するが、本種は胸鰭第1、2軟条が不分岐で区別される。例年初夏に成魚が出現するが今年は8月6日にツクシトビウオに混ざって出現しはじめ、8月中旬以降はすべて本種となった。ツクシトビウオより暖海を好む。
421. ツクシトビウオ *Cypselurus heterurus doederleini*
 1991年6月、三戸定置網、TL:324mm、YCM-P35175
 本種は北海道以南の日本各地に分布し、相模湾では、三浦半島南西部(工藤・岡部、1991)から記録がある。三崎では春から夏にかけ、ホソトビウオとともに定置網に入網し、トビウオ同様多獲され、水産上重要である。
422. アラメギンメ *Polymixia berndti*
 1988年12月25日、三崎沖一本釣、TL:約20cm
 本種は、相模湾以南に分布し、キンメダイの一本釣にかかると、市場価値がないため、あまり入荷しない。
423. トゲクシスミクイウオ *Howella zina*
 1989年6月、三戸定置網、TL:65mm、YCM-P35254
 本種は、九州パラオ海嶺から記録されており、相模湾からは初記録である。
424. ミナミキントキ *Priacanthus sagittarius*
 1991年10月、三戸定置網、TL:232mm、YCM-P35139
 本種は、三宅島、三重県以南に分布する(Starnes,1988)。相模湾からは初記録であり、分布の北限となる。
425. クルマダイ *Pristigenys nipponia*
 1995年4月23日、茅ヶ崎定置網、TL:101mm、
 YCM-P35229
 本種は南日本に分布し、相模湾では西湘(林・西山、1980)、佐島(林・伊藤、1974)から記録がある。三崎では少ない。
426. マトイシモチ *Apogon carinatus*
 1995年6月28日、茅ヶ崎定置網、TL:106mm、
 YCM-P35235
 本種は、千葉県以南に分布する。
427. テッポウイシモチ *Apogon kiensis*
 1995年4月23日、茅ヶ崎定置網、TL:49mm、
 YCM-P35234
 本種は、東京湾以南に分布し、神奈川水試(1975)の記録がある。内湾に多く、相模湾では少ない。
428. ヨメヒメジ *Upeneus tragula*
 1995年7月26日、三戸定置網、TL:130mm、
 YCM-P35241
 本種は、茨城県以南に分布し(望月ほか、1994)、相模湾からは三浦半島南西部(工藤・岡部、1991)天神島(林、1995)から記録がある。ヒメジとともに入網した。
429. ロウソクチビキ *Emmelichthys struhsakeri*
 1995年7月23日、三戸定置網、TL:91mm、
 YCM-P35239
 本種は、ハチビキに似るが、背鰭刺が離れる他、体色も淡い。南日本以南に分布する。三崎ではハチビキの幼魚は、時々定置網に入網するが、本種は稀である。
430. ウナギギンボ *Xiphasia setifer*
 1995年9月15日、諸磯定置網、TL:567mm、
 YCM-P35256
 本種は、三崎以南に分布し、西湘(林・西山、1980)から記録がある。
431. ニセカンランハギ *Acanthurus dussumieri*
 1995年2月22日、定置網、TL:149mm、YCM-P35255
 本種は、南日本以南に分布し、三浦半島南西部(工藤・岡部、1991)から記録がある。
432. トビササウシノシタ *Aseraggodes kobensis*
 1994年12月2日、三戸定置網、TL:109mm、
 YCM-P35114

本種は、南日本に分布し、三浦半島南西部（工藤・岡部、1991）から記録がある。

433. ゲンコ *Cynoglossus interruptus*

1991年9月26日、三戸定置網、TL:101mm、YCM-P35224

本種は、無眼側に側線がないこと、有眼側の側線が3本あることで他種と区別される。しかし、シタビラメ類の側線は個体変異があり、三崎産のオオシタビラメの場合、有眼側の側線が3本とも完全なもの（YCM-P35182）3本目が短いもの（YCM-P35218）、2本しかないもの（YCM-P35181）が見られるため、他の形質も確認する必要がある。

433. イトマキフグ *Kentrocopros aculeatus*

1992年12月、毘沙門定置網、TL:56mm、YCM-P35078

本種は、相模湾以南に分布する。やや深いところに棲み、定置網にはあまり入らない。

おわりに

本報告を作成するに当たり、標本登録の便をはかってくださり、種々ご教示いただいた横須賀市自然博物館の林 公義氏、ガンギエイ類についてご助言いただいた水土舎の石原 元博士、数々のご教示をいただいたおさかな普及センター資料館長阿部宗明博士、東京大学総合資料館の坂本一男博士、京急油壺マリパークの竹内経久氏、標本登録作業を行っていただいた山崎孝英氏、資料収集にご協力いただいた三崎沿岸漁業協同組合の方々、投稿の便をはかって下さった神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能 宏博士に深く感謝する。

参考文献

林 公義, 1995. 横須賀市自然博物館付属、天神島臨海自然教育園海域の魚類相—魚類相の環境指標化への試み—, 横浜国立大学環境科学研究

センター紀要, 21 (1):243-258.

林 公義・伊藤 孝, 1974. 横須賀市佐島, 天神島・笠島沿岸の魚類. 横須賀市博雑報, (20):37-50.

林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類—相模湾魚類目録・I. 神奈川自然誌資料 (1):15-27.

Ishihara, h., 1987. Revision of the Western North Pacific species of the genus *Raja*. 魚類学雑誌, 34 (3):241-285.

神奈川県水産試験場・神奈川県水産試験場相模湾支所, 1979. 神奈川県海域の魚類および種別研究の現状. 相模湾資源調査報告書-I:1-48.

工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類, 神奈川自然誌資料, (12):29-38

Miya, m., E. Higashitarumizu, T. Gonoi, T. Sunobe & K. Mochizuki, 1994 a. Fishes of the Boso Peninsula, central Japan -I. *J. Nat. Hist. Mus. & Inst., Chiba*, 3 (1):109-118.

Miya, m., E. Higashitarumizu, T. Gonoi, T. Sunobe & K. Mochizuki, 1994 b. Fishes of the Boso Peninsula, central Japan -II. *J. Nat. Hist. Mus. & Inst., Chiba*, 3 (1):119-128.

望月利彦・二平 章・山口安男・田村泰洋・大川徹, 1994. 茨城県沿岸海域で分布が確認された新魚種. 茨城県水産試験場研究報告, 32:39-51.

Starnes, w. c., 1988. Revision, phylogeny and biogeographic comments on the circumtropical marine percoid fish family Priacantidae. *Bull. Mar. Sci.*, 43 (2):117-203.

山田和彦・工藤孝浩, 1993. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・IV. 神奈川自然誌資料, (14):49-50.

(山田:おさかな普及センター資料館, 工藤:神奈川県水産総合研究所)

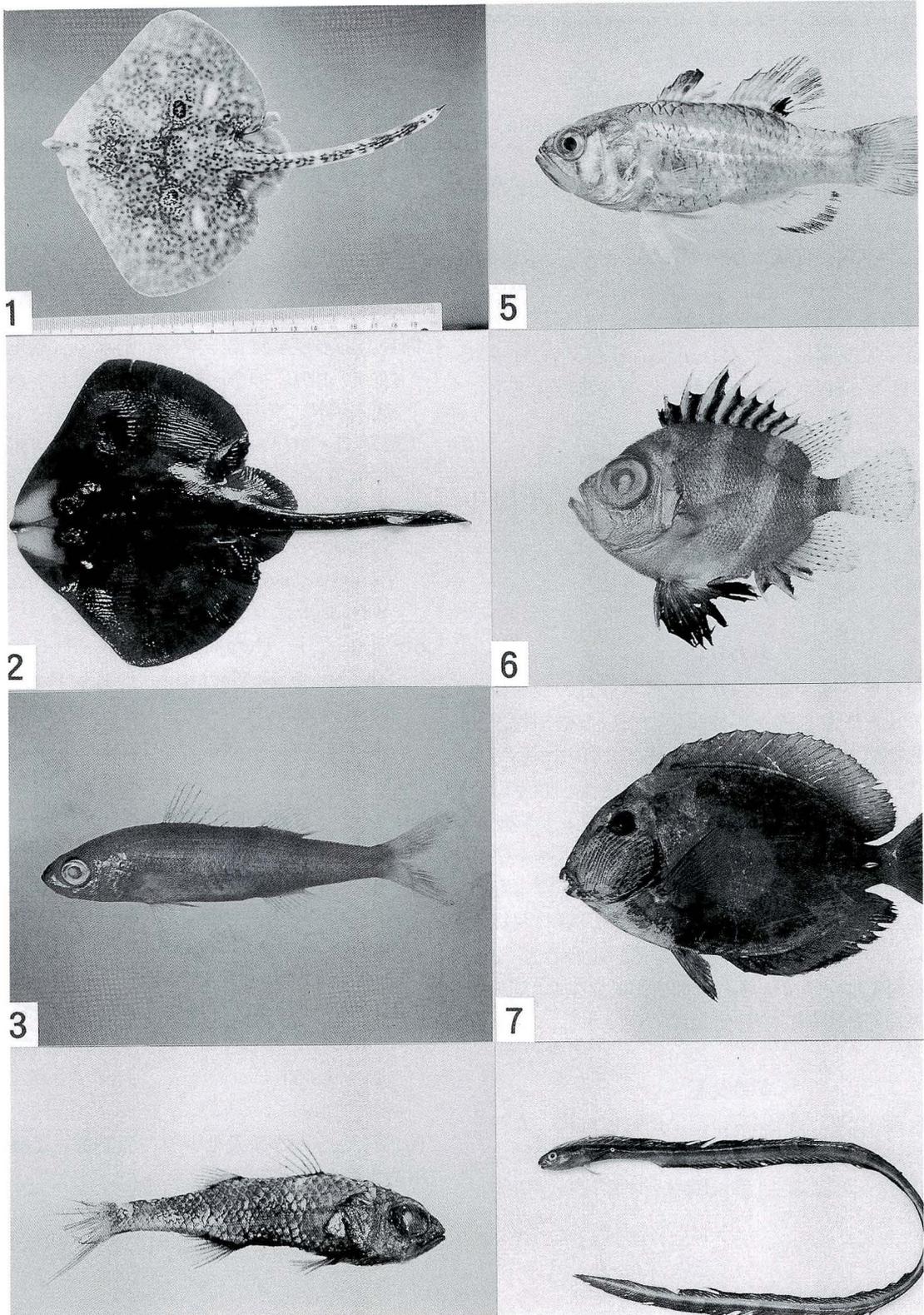


図 1.

1. ツマリカスベ *Raja schmidti* YCM-P35151; 2. コモンカスベ *Raja kenoei* YCM-P35252;
 3. ロウソクチビキ *Emmelichthys struhsakeri* YCM-P35239; 4. トゲクシスミクイウオ *Howella zina* YCM-P35254; 5. マトイシモチ *Apogon carinatus* YCM-P35235; 6. クルマダイ *Pristigenys nipponia* YCM-P35229; 7. ニセカンランハギ *Acanthurus dussumi* YCM-P35255; 8. ウナギギンポ *Xiphasia setifer* YCM-P35256